



平成 24 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 東洋製罐株式会社
代 表 者 名 取締役社長 金子 俊治
(コード番号 5901 東証第一部・大証第一部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 田谷 信幸
(T E L 03-4514-2001)

特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の業績予想を修正するとともに、平成 24 年 3 月期決算において計上が見込まれる特別損失および繰延税金資産の取崩しについて併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 災害による損失

①タイの洪水被害にともなう災害による損失

昨年 10 月にタイ国で発生した洪水により、同国アユタヤ県のロジャナ工場団地にある当社連結子会社 Well Pack Innovation Co., Ltd.、Toyo Pack International Co., Ltd. および Toyo Seikan Technical & Administration Service Center (Asia) Co., Ltd. の 3 社において、建物や生産設備などの固定資産および棚卸資産が浸水被害を受けました。これにともなう被害額 3,774 百万円を、平成 24 年 3 月期の連結決算において特別損失に計上する見込みとなりました。

当該特別損失のうち、3,322 百万円を平成 24 年 3 月期第 3 四半期に計上しております。

なお、当該被災した固定資産等には保険を付保しておりますが、現時点において保険金受取額が確定していないため、保険金収入を計上しておりません。

②東日本大震災にともなう災害による損失

当社は、平成 23 年 7 月 29 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」において、東日本大震災の発生にともなう損害額について、連結で 4,149 百万円、個別で 4,114 百万円の特別損失の発生が見込まれる旨公表いたしました。このたび現時点において入手可能な情報等に基づき東日本大震災にともなう損害額を算定した結果、平成 24 年 3 月期において新たに連結で 511 百万円、個別で 501 百万円の特別損失が発生する見込みとなりました。

(2) 土壌改良費用

当社の旧高槻工場跡地にかかる土壌改良費用 466 百万円を、平成 24 年 3 月期第 3 四半期において、連結・個別ともに特別損失に計上しております。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

平成 23 年 12 月 2 日付で公布されました「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、平成 24 年 4 月 1 日以降に適用される法人税率が変更されることとなりました。

これにともない繰延税金資産の取崩しを行い、平成 24 年 3 月期第 3 四半期において、連結で 3,298 百万円、個別で 2,284 百万円が税金費用として増加しております。

3. 業績予想数値の修正

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 709,000	百万円 15,000	百万円 14,500	百万円 △1,500	円 銭 △7.44
今回修正予想 (B)	696,000	11,000	10,500	△11,000	△54.54
増減額 (B-A)	△13,000	△4,000	△4,000	△9,500	
増減率 (%)	△1.8	△26.7	△27.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	706,502	24,970	27,520	△4,383	△21.46

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 320,000	百万円 1,500	百万円 2,500	百万円 △6,000	円 銭 △29.75
今回修正予想 (B)	317,000	△1,000	0	△11,000	△54.54
増減額 (B-A)	△3,000	△2,500	△2,500	△5,000	
増減率 (%)	△0.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	323,874	4,916	10,811	△4,842	△23.71

修正の理由

【連結】（直前の業績予想公表日：平成 23 年 10 月 31 日）

売上高は、主に飲料容器や鋼板の販売が当初予定より減少する見通しであることなどから、前回予想を下回る見込みです。営業利益および経常利益は、売上高の減少および原材料コストが当初想定を上回る影響などにより前回予想を下回る見込みです。当期純利益は、上記 1. および 2. のとおり特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しにともなう税金費用の増加などにより前回予想を大幅に下回る見込みです。

【個別】（直前の業績予想公表日：平成23年9月29日）

売上高は、飲料容器の販売が当初予定より減少する見通しであることから、前回予想を下回る見込みです。営業利益および経常利益は、売上高の減少および原材料コストが当初想定を上回る影響などにより前回予想を下回る見込みです。当期純利益は、上記1.および2.のとおり特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しにともなう税金費用の増加などにより前回予想を大幅に下回る見込みです。

以上の理由から、平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正いたします。

なお、期末配当金につきましては、従来予想通り1株につき5円を予定しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上